

ユースフォーラム2024 in 奥羽(花巻)

宮沢賢治の「ことば」から信仰見つめる

新日本宗教青年会連盟(新宗連)青年会、宮本泰克委員長は4月20・21日、岩手県花巻市で「ユースフォーラム2024 in 奥羽(花巻)」を開催した。

ユースフォーラムは毎年8月14日、国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑で行われる「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典」(8・14式典)とならび、新宗連青年会の二大行事に位置付けられている。全国の新宗連加盟教団の青年が一堂に集う、「出

会い・啓発・学習」の場。45回目を迎えた今回は、新日本宗教青年会奥羽連盟(青奥連)の受け入れのもと、「私の宗教―宮沢賢治のことば―」から見るタイパシティー&インクルージョンをテーマに開催した。

昨年、没後90年を迎えた宮沢賢治は花巻市出身の国民的詩人、童話作家。賢治は法華経に篤く帰依し、その信仰は作品に深い影響を与えている。

20日は開会に先立ち、オプショナルとして午後2時から、花巻市内の賢治の墓所である身照寺、創作の舞台となった「イギリス海岸」、農村改善運動の舞台「羅須地人協会」、「雨ニモマケズ」詩碑を巡った。詩碑では、講演会での講師を務める大澤千恵子・東京学芸大学教授が説明を行った。

午後5時、花巻駅近くの「なはんプラザ」で開会。新宗連青年会委員長の宮本泰克が、賢治の「ことば」の数々を解説。現実と

あいさつに続いて、奥羽総支部の田澤清喜会長のメッセージが代読され、青奥連の代表が2日間のオリエンテーションを行った。

講演会に移り、大澤氏が「宮沢賢治 イーハートゥー」からの誘い「心・宇宙・宇宙」のテーマで講演した。大澤氏ははじめに、「心はどこにあるのか」と参加者に問いかけ、「科学で証明できず、目には見えないが、確かにあるもの」「ことば」を通して映し出されるもの」と説明。「信仰も同じ。どう生きるのか、与えられたいのちをどう燃やすかが重要」と述べた。

また「ことば」は発した人のものであると同時に受けた人の「ことば」でもある。皆さんが賢治の「ことば」から何を受け取り、生きるかそこが「ことば」の真の力」と、今回のプログラムを学ぶにあたっての心構えをアドバイスした。続いて大澤氏は近代文学と比較して、賢治の童話作品の特長を解説。「現実より空想、個人より全体、大人より子ども」を重視していることと指摘した。そして、賢治作品の珠玉の「ことば」の数々を解説。現実と

新宗連
青年
会



講演会では、大澤氏が賢治の「ことば」を解説した。詩碑では、講演会での講師を務める大澤千恵子・東京学芸大学教授が説明を行った。

午後5時、花巻駅近くの「なはんプラザ」で開会。新宗連青年会委員長の宮本泰克が、賢治の「ことば」の数々を解説。現実と



宮沢賢治記念館を見学

新宗連首都圏総支部(本山一博会長)は4月5日午後2時から、東京・代々木の新宗連会館でオンライン回教化活動懇談会を開催した。日本基督教団総務幹事の道家紀一氏と玉光神社宮司の本山一博氏(首都圏総支部会長)が教団の「祈り」について、教義の意味や位置付けについて講演した。

首都圏総支部ではこれまで加盟教団の教えについて理解を深めてきたが、令和6年度は各教団の「祈り」を学ぶ回教化活動懇談会を企画。首都圏総支部は、全国の総支部・協議会にも参加を呼び掛け、第1回懇談会には中国、北関東、北陸の総支部からオンライン出席があった。

懇談会では、道家氏は所属するプロテスタント教会の「祈り」について解説。「祈り」はクリスチャンにとって基本であり、祈る時間は日々努力して作り出さなければならぬ時間、祈りは神と「対一の時間」「信仰の食物」などと説明した。

その上で「祈り」を定義することは容易ではないとし、「祈りは、聖書の神に向かって人が発するあらゆる信仰的な態度の総称である」と述べた。

また、大澤氏は「ことば」は発した人のものであると同時に受けた人の「ことば」でもある。皆さんが賢治の「ことば」から何を受け取り、生きるかそこが「ことば」の真の力」と、今回のプログラムを学ぶにあたっての心構えをアドバイスした。続いて大澤氏は近代文学と比較して、賢治の童話作品の特長を解説。「現実より空想、個人より全体、大人より子ども」を重視していることと指摘した。そして、賢治作品の珠玉の「ことば」の数々を解説。現実と

新宗連が全国11地域に組織する各総支部は、2月27日に開催した第32期第6回理事会で決定した令和6年度事業計画など、決定事項の共有を図るためそれぞれ、総務会等の会合を開催した。また、教団内人事異動に伴う役職者異動等について確認した。

近畿総支部は3月25日、大阪市内のホテルでオンライン派遣に関する募集要項の確認。各総支部主催の行事運営方法等について確認した。

各総支部総務会の開催日時等は以下の通り。

中部総支部(田中庸仁会長)

九州総支部(久道臣会長) 4月5日・総務会(立正佼成会名古屋教会)

首都圏総支部(本山一博会長) 3月13日・総務会(玉光神社・オンライン)

北関東総支部(新井光典会長) 3月13日・総務会(オンライン)

四国総支部(小坂匡弥会長) 4月18日・総務会(オンライン)

新宗連が全国11地域に組織する各総支部は、2月27日に開催した第32期第6回理事会で決定した令和6年度事業計画など、決定事項の共有を図るためそれぞれ、総務会等の会合を開催した。また、教団内人事異動に伴う役職者異動等について確認した。

近畿総支部は3月25日、大阪市内のホテルでオンライン派遣に関する募集要項の確認。各総支部主催の行事運営方法等について確認した。

各総支部総務会の開催日時等は以下の通り。

中部総支部(田中庸仁会長)

九州総支部(久道臣会長) 4月5日・総務会(立正佼成会名古屋教会)

首都圏総支部(本山一博会長) 3月13日・総務会(玉光神社・オンライン)

北関東総支部(新井光典会長) 3月13日・総務会(オンライン)

四国総支部(小坂匡弥会長) 4月18日・総務会(オンライン)

新宗連が全国11地域に組織する各総支部は、2月27日に開催した第32期第6回理事会で決定した令和6年度事業計画など、決定事項の共有を図るためそれぞれ、総務会等の会合を開催した。また、教団内人事異動に伴う役職者異動等について確認した。

近畿総支部は3月25日、大阪市内のホテルでオンライン派遣に関する募集要項の確認。各総支部主催の行事運営方法等について確認した。

各総支部総務会の開催日時等は以下の通り。

中部総支部(田中庸仁会長)

九州総支部(久道臣会長) 4月5日・総務会(立正佼成会名古屋教会)

首都圏総支部(本山一博会長) 3月13日・総務会(玉光神社・オンライン)

北関東総支部(新井光典会長) 3月13日・総務会(オンライン)

四国総支部(小坂匡弥会長) 4月18日・総務会(オンライン)

新宗連が全国11地域に組織する各総支部は、2月27日に開催した第32期第6回理事会で決定した令和6年度事業計画など、決定事項の共有を図るためそれぞれ、総務会等の会合を開催した。また、教団内人事異動に伴う役職者異動等について確認した。

近畿総支部は3月25日、大阪市内のホテルでオンライン派遣に関する募集要項の確認。各総支部主催の行事運営方法等について確認した。

各総支部総務会の開催日時等は以下の通り。

中部総支部(田中庸仁会長)

九州総支部(久道臣会長) 4月5日・総務会(立正佼成会名古屋教会)

首都圏総支部(本山一博会長) 3月13日・総務会(玉光神社・オンライン)

北関東総支部(新井光典会長) 3月13日・総務会(オンライン)

四国総支部(小坂匡弥会長) 4月18日・総務会(オンライン)

新宗連が全国11地域に組織する各総支部は、2月27日に開催した第32期第6回理事会で決定した令和6年度事業計画など、決定事項の共有を図るためそれぞれ、総務会等の会合を開催した。また、教団内人事異動に伴う役職者異動等について確認した。

近畿総支部は3月25日、大阪市内のホテルでオンライン派遣に関する募集要項の確認。各総支部主催の行事運営方法等について確認した。

各総支部総務会の開催日時等は以下の通り。

中部総支部(田中庸仁会長)

九州総支部(久道臣会長) 4月5日・総務会(立正佼成会名古屋教会)

首都圏総支部(本山一博会長) 3月13日・総務会(玉光神社・オンライン)

北関東総支部(新井光典会長) 3月13日・総務会(オンライン)

四国総支部(小坂匡弥会長) 4月18日・総務会(オンライン)

新宗連が全国11地域に組織する各総支部は、2月27日に開催した第32期第6回理事会で決定した令和6年度事業計画など、決定事項の共有を図るためそれぞれ、総務会等の会合を開催した。また、教団内人事異動に伴う役職者異動等について確認した。

近畿総支部は3月25日、大阪市内のホテルでオンライン派遣に関する募集要項の確認。各総支部主催の行事運営方法等について確認した。

各総支部総務会の開催日時等は以下の通り。

中部総支部(田中庸仁会長)

九州総支部(久道臣会長) 4月5日・総務会(立正佼成会名古屋教会)

首都圏総支部(本山一博会長) 3月13日・総務会(玉光神社・オンライン)

北関東総支部(新井光典会長) 3月13日・総務会(オンライン)

四国総支部(小坂匡弥会長) 4月18日・総務会(オンライン)

トピック

立正佼成会 学林創設60周年記念式典
ならびに学林合同入林式
実践的仏教の人材育成 歴史振り返り未来像を語る



立正佼成会(庭野日鏡会長)は4月6日午後0時45分から、東京・杉並の本部大聖堂で「学林創設60周年記念式典ならびに学林合同入林式」を挙行し、新入林生はじめ、関係者、卒業生など約800人が参列。またYouTubeでも配信された。

約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

れ、約2200人が参列した。学林は立正佼成会の庭野日鏡開祖の願いにより、実践的仏教を体得し、宗教の推進をはじめ、社会、世界のあらゆる面で活躍する人材育成機関として1964(昭和39)年4月8日に創設され、こ

と作品を、科学と芸術、宇宙、信仰、農の5つの観点から、深く学ぶ。童話村は、難しい理屈抜きで、賢治の世界を楽しむ体感型施設。参加者は同行した大澤氏の解説を受けながら、それぞれのペースで学びと体験を深めた。当日は天候にも恵まれ、童話村の広大な緑地で賢治の愛した右手ハートゥーの自然に触れ、散策を楽しんだ。

最後に青奥連代表があいさつを述べ、閉会した。

拡大委と育成セミナー検討会を開催

ユースフォーラムの開催に合わせて、20日午後1時

半から3時半まで、令和6年度第1回(拡大)委員会を開催した。役員改選に伴い、新たな委員構成を確認した後、委員長と副委員長を互選した。委員長は前期に引き続き、妙智會教団の宮本泰克氏を選任、副委員長に、解脫会の岡野孝行氏(再任)、立正佼成会の庭野嘉昭氏(新任)を選出した。

この後、令和5年度事業報告を確認し、6月の新宗連理事会へ提出することを申し合わせた。続いて、全国の地方連盟の代表者が、活動報告や予定行事の告知を行った。

さらにユースフォーラム

終了後の21日午後からは、青少年育成セミナーの今後を在り方を検討する会議を開催した。

「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8・14式典)」と「ユースフォーラム」の二大行事、平和使節団など、新宗連青年会の各行事を有機的につなげるなど、令和6年度の総幹80年・8・14式典第60回の節目も見据え、3カ年計画で、「戦争と平和」をテーマとすることを申し合わせた。初年度となる来年は先の大戦、2年目と3年目は「現代の戦争」「戦争と宗教」をサブテーマとし、4年目は3カ年を振り返る。

見解」と前置きした後、玉光神社の「祈り」について解説した。「人の願い」と「神の願い」の違いから人の願いから始めて神の願いを知り、神の願いの成就を経て、神の存在を感得するとの信仰の過程を明かした。

そして霊能力を持った初代・本山きぬ教祖の説いた「因縁」、並びに本山博初代宮司が説いた「カルマ」の教義の意味、そして二代目宮司である自身がそれをどう領解し、神と人の「祈

り」の位置付けを行い、信者に説いているかを説明。「目に見えない世界と見える世界の歴史が動き、人はその流れの中の歴史的存在である」として、「祈り、祈禱は自分の小さな願いと、神様の大きな願いを噛み合わせること。これが玉光神社の在り方と提示した」と述べた。

二氏それぞれの講演後に、行われた質疑応答では、講義内容を確認、出席者自身の信仰を基にした感想などが続いた。

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会・理事会第2回東京平和円卓会議の概要と成果、意義振り返り報告

世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会(戸松義晴理事長)は3月14日午前11時から、京都市東山区の浄土宗豊前寺を主会場にオンライン併用で、「第47回理事会」を開催した。

開会に先立ち、平和の祈り、浄土宗役員の名越邦博企画調整室長が歓迎のあいさつ。続いて戸松義晴理事長が開会のあいさつを述べ、議事に移った。

審議事項では、日本委員会について審議。続いて、今年2月に開催された第2回東京平和円卓会議について概要と声明文、併せて会議の意義について振り返りを報告した。第1回会議(2022年9月)に引き続き戦争当事国から宗教者代表が参加したこと、また唯一の戦争被爆国である日本で開催した意義は大きいと述べた。

このほか、トルコ・シリア大地震への対応についても議題に上がった。トルコ・シリアへの支援については、災害対応タスクフォースが中心となり、被災者支援に取り組み国内外団体を通じて支援を実施し、メッセンジャーを発信することを確認し、全5件の議案について原案通り承認した。

このほか、報告事項では法人業務や国際事業の活動内容、タスクフォースと常設機関の今後の取り組みが紹介された。

く、宗教者の具体的行動を含む声明文が全会一致で採択できた成果を確認した。今回の会議の特徴として、設の訪問や日本の伝統文化に触れ、対話による包括的アプローチを行い、信頼関係の構築につながった。メディアでの露出についての課題も浮き彫りとなり、海外メディアでの配信が目立つ一方、国内メディアでの報道は少なく、宗教界紙に限定されたことが指摘された。また、継続的な会議の必要性についても意見交換が行われた。

このほか、トルコ・シリア大地震への対応についても議題に上がった。トルコ・シリアへの支援については、災害対応タスクフォースが中心となり、被災者支援に取り組み国内外団体を通じて支援を実施し、メッセンジャーを発信することを確認し、全5件の議案について原案通り承認した。

このほか、報告事項では法人業務や国際事業の活動内容、タスクフォースと常設機関の今後の取り組みが紹介された。

く、宗教者の具体的行動を含む声明文が全会一致で採択できた成果を確認した。今回の会議の特徴として、設の訪問や日本の伝統文化に触れ、対話による包括的アプローチを行い、信頼関係の構築につながった。メディアでの露出についての課題も浮き彫りとなり、海外メディアでの配信が目立つ一方、国内メディアでの報道は少なく、宗教界紙に限定されたことが指摘された。また、継続的な会議の必要性についても意見交換が行われた。

このほか、トルコ・シリア大地震への対応についても議題に上がった。トルコ・シリアへの支援については、災害対応タスクフォースが中心となり、被災者支援に取り組み国内外団体を通じて支援を実施し、メッセンジャーを発信することを確認し、全5件の議案について原案通り承認した。

このほか、報告事項では法人業務や国際事業の活動内容、タスクフォースと常設機関の今後の取り組みが紹介された。

く、宗教者の具体的行動を含む声明文が全会一致で採択できた成果を確認した。今回の会議の特徴として、設の訪問や日本の伝統文化に触れ、対話による包括的アプローチを行い、信頼関係の構築につながった。メディアでの露出についての課題も浮き彫りとなり、海外メディアでの配信が目立つ一方、国内メディアでの報道は少なく、宗教界紙に限定されたことが指摘された。また、継続的な会議の必要性についても意見交換が行われた。

このほか、トルコ・シリア大地震への対応についても議題に上がった。トルコ・シリアへの支援については、災害対応タスクフォースが中心となり、被災者支援に取り組み国内外団体を通じて支援を実施し、メッセンジャーを発信することを確認し、全5件の議案について原案通り承認した。

このほか、報告事項では法人業務や国際事業の活動内容、タスクフォースと常設機関の今後の取り組みが紹介された。

く、宗教者の具体的行動を含む声明文が全会一致で採択できた成果を確認した。今回の会議の特徴として、設の訪問や日本の伝統文化に触れ、対話による包括的アプローチを行い、信頼関係の構築につながった。メディアでの露出についての課題も浮き彫りとなり、海外メディアでの配信が目立つ一方、国内メディアでの報道は少なく、宗教界紙に限定されたことが指摘された。また、継続的な会議の必要性についても意見交換が行われた。

このほか、トルコ・シリア大地震への対応についても議題に上がった。トルコ・シリアへの支援については、災害対応タスクフォースが中心となり、被災者支援に取り組み国内外団体を通じて支援を実施し、メッセンジャーを発信することを確認し、全5件の議案について原案通り承認した。

このほか、報告事項では法人業務や国際事業の活動内容、タスクフォースと常設機関の今後の取り組みが紹介された。

